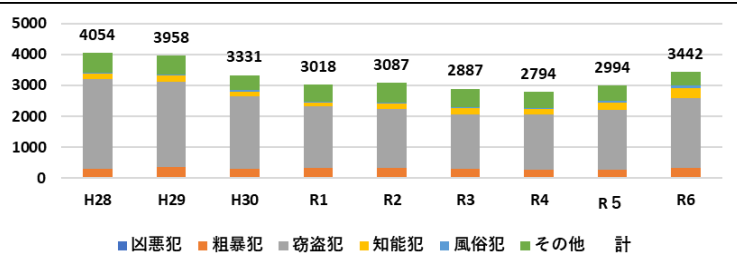


令和6年 大分県の治安情勢

【刑法犯認知件数の推移】

※「刑法犯」とは、「刑法」で定める罪などをいいます。
※ 認知件数とは、警察が被害の届出を受理した件数をいいます。



令和6年中、最も多く発生した「罪種」は、自転車盗やオートバイ盗、万引き、住宅対象侵入などの「窃盗犯」で、全体の約6割を占めています。



自転車盗やオートバイ盗の被害が大幅に増加

被害に遭った時に鍵をかけていなかった割合は・・・

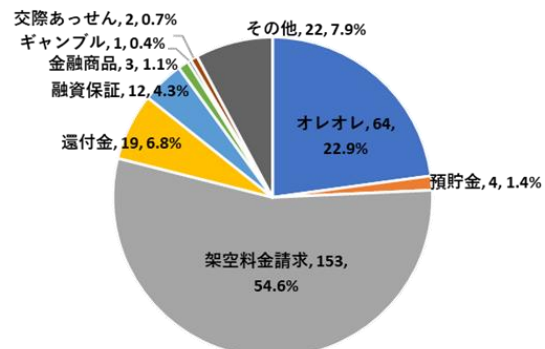
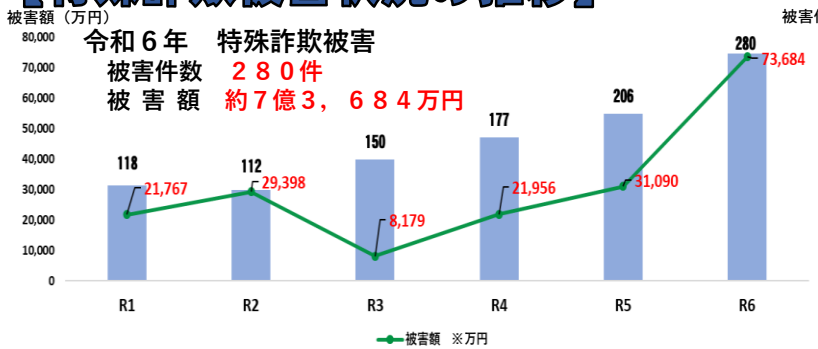
自転車盗 **79%**

オートバイ盗 **58%**

被害に遭わないためには、鍵をかけることが大切です。
常設のキーの他に、もう1つ鍵をかける「ツーロック」をしましょう。



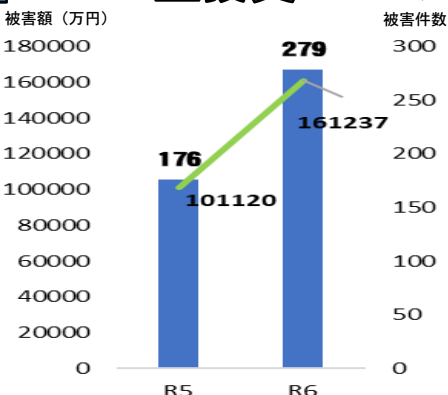
【特殊詐欺被害状況の推移】



- 令和6年の被害状況は、被害件数・被害額とも過去最高となりました。
- 警察官を騙ったオレオレ詐欺や副業を名目とした特殊詐欺が急増し、幅広い年齢で被害が発生しています。
- 犯人への被害金交付方法が多かったのは、振込57%、電子マネー26%、手交14%
- 「+ (プラス) や010等」の国際電話番号を悪用した予兆電話を多数確認しました。



【SNS型投資・ロマンス詐欺被害状況の推移】



令和6年 SNS型投資・ロマンス詐欺被害
被害件数 **279件**
被害額 **約16億1,237万円**

- SNS型投資が全体の約5割、ロマンス投資名目が3割強と、投資を口実にお金をだまし取る被害が約8割に及びます。
- 犯人が指定する振込口座のほとんどは、やりとりをしていた者と氏名が違う別人名義の個人口座です。

